

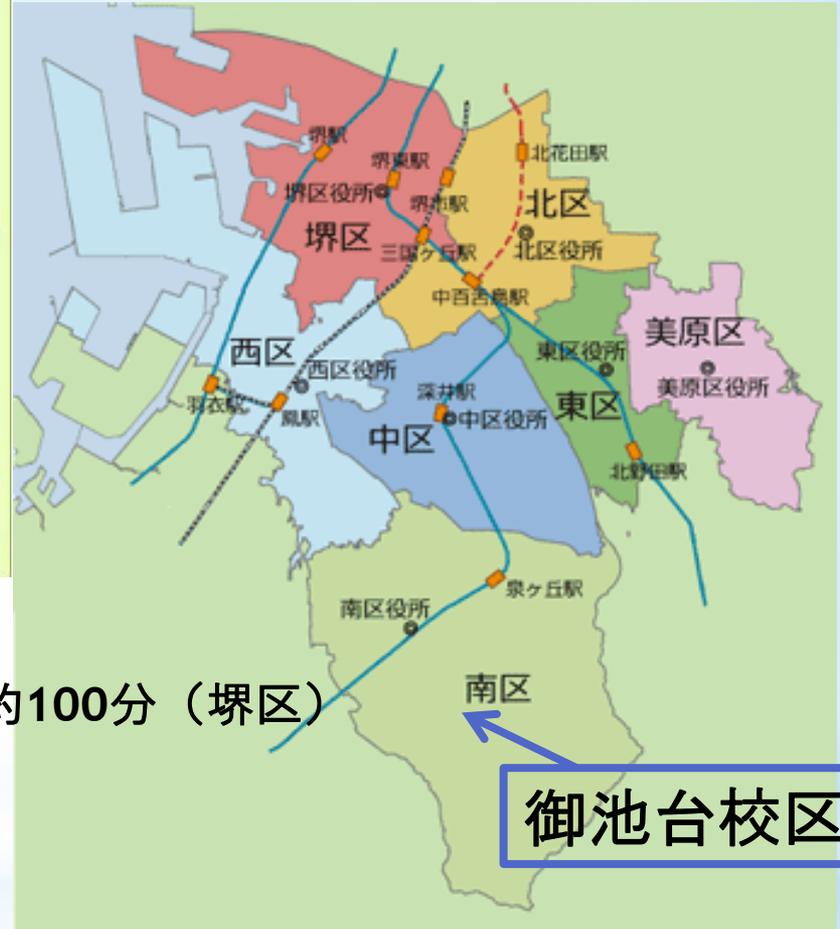
地域防災力の向上をめざして ～堺市南区御池台校区での取り組み～

平成29年11月22日（水）

- * 御池台校区について
- * 住民の防災意識を高めるための取り組み
- * 災害時に発揮する日頃の自治会活動について

* 今日のお話

*御池台校区について



南海トラフ巨大地震

震度6弱 ※地震発生後津波到来まで約100分（堺区）

上町断層帯地震

震度6弱～6強（御池台校区）

出典：

大阪府地域防災計画（H26.3大阪府）

大阪府津波浸水想定（H25.8大阪府）

堺市地震災害想定総合調査（H21.3堺市）

＊堺市 御池台校区

*住民の防災意識を
高めるための取り組み

*御池台防災まち歩きの実施

*防災体感&親子夜間防災訓練

*災害時要配慮者支援への取組み

*御池台校区「災害避難マニュアル」

*住民の防災意識を高めるための
取組み

*防災まち歩きの実目的

- ・ 校区内のどのようなところに注意すべきか、災害時に活用される施設や準備状況を確認する
- ・ 災害発生時に自分の命を守るために必要な知識・経験を養う

平成29年度自主防災組織リーダー育成研修



*御池台防災まち歩きの実施

***防災体感&親子夜間防災訓練**

*災害時要配慮者支援への取組み

*御池台校区「災害避難マニュアル」

*住民の防災意識を高めるための
取組み

平成29年度自主防災組織リーダー育成研修

時刻	項目	1班・2班
13:30～ 13:10	開会 の辞	
13:15～ 13:40		体感型防災 訓練、手づ くり工作・ キャンドル 作り等
13:40～ 14:10		
14:10～ 14:30		
14:30～ 14:50		
14:50～ 15:20		
15:20～ 15:45		
15:50～ 16:00	講評	

時刻	項目	参加者	参加者の準備内容
17:00～17:05	開会の辞	全員	
17:05～17:15	諸注意	全員	
17:15～18:30	避難所の確保 と食事の準備	全員	・トイレの設営 (説明用1機のみ) ・食事の準備(野菜切 り) ・アルミ缶炊飯 ・テント張りを含む
18:30～19:10	夕食	全員	
19:10～19:30	夕食の片付け	全員	ゴミの整理
19:30～21:00	キャンプファ イアー&ゲーム	全員	
21:00～ 6:00	就寝		就寝
06:00～ 7:00	起床		寝所の片付け
07:00～ 07:45	食事		
07:45～ 08:50	アンケートと清 掃	全員	アンケートと清掃
08:50～ 09:00	講評の辞	全員	
09:00～10:00	ドローン実演	全員	見学

* 校区の子どもたちとの宿泊訓練



* マンホールトイレの使用体験



* マンホールトイレの設営

平成29年8月19日～20日
堺市立御池台小学校にて

* 持ち込みテントでの宿泊（中庭）



* 体育館での宿泊の様子

平成29年8月19日～20日
堺市立御池台小学校にて

* 平成29年度秋季防災訓練

* 電気設備点検（体育館）



* 物資搬入訓練

- * 御池台防災まち歩きの実施
- * 防災体感 & 親子夜間防災訓練
- * **避難行動要支援者への支援の取組み**
- * 御池台校区「災害避難マニュアル」

* 住民の防災意識を高めるための
取組み

* 福祉避難所マニュアルの作成

福祉避難所マニュアル 御池台校区自主防災会

- 福祉避難所の考え方
 - 一般の避難所において、避難所生活が困難な高齢者や障がいのある妊産婦などの人を対象に避難する二次的避難所である
 - 御池台校区においては、御池台地域会館とします
- 対象
 - 御池台校区では、日ごろより見守り活動を通して支援が必要な方を把握して、困難度に応じて赤・黄・青の色分けを行い、赤の人を要支援者として優先して受け入れる
 - ※赤
 - ※黄
 - ※緑
 - なお妊産婦に関しては一時避難所において判断する
- 避難への流れ
 - 単位自治会割り当ての一時避難所に避難
 - 一時避難所において安否確認リストを作成赤の人を対象に受け入れを決定する
 - 対象となった人は介助者、支援班とともに直接地域会館に搬送できる
 - 対象となった人において、集会所のある単位自治会において要支援者の避難が可能なお一時避難所において、集会所のある単位自治会において検討する
- 避難所の開設
 - 条件
 - 震度6弱以上の地震発生したとき
 - 震度6以上の地震で、御池台校区において相当な被害があり指定避難所が開設され校区自主防災会指定避難所の運営が必要と判断したとき
 - 福祉避難所の開設
 - 建物被災チェックシートによる建物診断（様式1）
 - （平常時より定期的にチェック・皆で共有する）・・・民生委員、会館管理人
 - 福祉避難所開設宣言
 - 要支援者受け入れ（介助者とともに）
 - 受付票に記載（様式2）
 - 庁舎3において、災害時要支援者状況表（様式3）・・・民生委員、支援班
 - 要支援者の状況に応じて、各部屋にて割り振る
 - 庁舎3（福祉避難所本部）・受付、談話室
 - 和室 支援者受け入れ
 - 庁舎1・2・5・6・7 和室
 - （様式4 地域会館見取り図参照）

・車椅子の人も想定するので、各部屋通路は広く取っておく

福祉避難所のルール

・おもなルールは指定避難所に準ずる

トイレに関する対応

地域会館内のトイレを利用して、水の使用が不可の想定で、簡易トイレを利用する。なお汚物入れの保管場所として、地域会館でもトイレ裏に一時保管場所を定め、その後地域会館駐車場に移動する
その世話においては、付き添い介助者でおこなう
トイレトペーパーの備蓄は多い目に

ゴミに関する対応

会館内からでたゴミは、一時中庭に集めて、その後地域会館駐車場に移す
その世話は、付き添い介助者で行う

手洗いに関する対応

手洗いを助行（アルコールなどの消毒液の配置）

活用水を確保できる場合は中庭に洗濯機、物干し場を確保する
雨や下痢などの体調を崩しているひとの有無を介助人により把握
器の取り回しに關し、生活用水が使えない事を考え、ラップや
ポリホイルなどを備蓄しておく

介助者に関する対応

1人の介助者によって責任者を決め清掃、ゴミ出しなどの担当も決める

取組方法

設置されている災害対策本部と無線、携帯電話等で状況を綿密に取り合
い、食・物などの情報を共有する

情報を整理して、必要な情報を明示し、庁舎3に設定してある

本部に掲示板をもうける

被災者同士が情報交換できる「伝言板コーナー」を設置する

この情報も記録・整理して保管する

必要時要支援者の支援

において活動力が低下し、寝たきり状態になりやすいので健康状態

可能な限り運動できる場所を確保する

生活環境の変化で問題行動が出現しやすいので生活指導

をしながら、精神的な安定を図る

いるひとの配慮のために、パーティション区切り、必要な

トを供給する

・ハンドマイク等を使用して、最新の情報を伝える
（聴覚障害者）

- 伝達事項は紙やマグネット式のお絵かきボードで筆談する
- 平常時より手話通訳者の情報を集めておく

（妊産婦、乳児）

- 通行現象、夜泣き、不眠などの症状に留意し精神的安定が図られるよう配慮する
- 授乳場所の確保、ミルクの湯、哺乳瓶の清潔、沐浴の手立ての確保に留意する

その他）

- 上記の配慮は、ボランティアの協力のもとに、あくまで介助者間での話し合いのなかで行う

避難所の閉鎖

- 対策本部と協力して、避難者の搬出状況を勘案し、福祉避難所の閉鎖を判断したときは、要支援者および家族に十分説明する
- 避難している要支援者が搬出し、福祉避難所の目的が達成したときは、必要な状況回復を行い福祉避難所としての指定を解除する

☆校区の地域会館を福祉避難所とし、運営マニュアルを作成しました。

* 福祉避難所運営訓練
(11/5の秋季防災訓練で実施)



- * 御池台防災まち歩きの実施
- * 防災体感 & 親子夜間防災訓練
- * 災害時要配慮者支援への取組み
- * 御池台校区「災害避難マニュアル」

* 住民の防災意識を高めるための
取組み

*災害時に発揮する
日頃の自治会活動について

御池台校区 地域福祉活動計画 (2016年～2025年)

人・まち・これから

堺市南区御池台校区福祉委員会
堺市南区御池台まちづくり協議会



『どんな人にも住みやすいまち御池台』を目指して

1. みんなでつくる御池台 ★印はすでに実施している事業											10年後の理想状態			
組	近隣の地域で繋がる場 ワポート事業	中位自治会のつながりがくを連合自治会 から里向の支援(行事、買い物、広域ほか)	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	平成 36年度	平成 37年度	全住民が協力し、支え合う自治会	
つながりの場づくり	若年層つながり事業	★老人会と小学生の世代間交流												共働き・若者世代が生活しやすくなる地域
	高齢者自治会つながり事業	御池台小学校卒業生の交流の場の提供 ★成人を繋ぐ集い、同窓会												各丁で「交流の場、がある地域
景	つどいの場整備事業	空き家の活用 居酒屋・食言会が出来る場の整備											地域の中で誰かと繋がるにぎやかな地域	
2. 安心して暮らしていける御池台 ★印はすでに実施している事業											10年後の理想状態			
買い物・医療	近気バス・通い先の核対策	★商店と地域住民との話し合い	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	平成 36年度	平成 37年度	NPO・福祉施設・商店会・行政と協働で 暮らしやすさを叶える地域	
交	かわりつけ医師の確保	高医療機関や行政と相談												交通・職・医療の 心配がない地域
連	コミュニティの運行	送迎車(病院、公共施設など)												最後まで、その人らしい 生活ができる地域
女えあい活動、 NPO・福祉施設、 事業所との連携	暮らしやすさの推進	★御池台区連自治会 福祉委員会活動計画策定 地域生活支援コープリーダー養成と配置												
3. 学び育ち合う御池台 ★印はすでに実施している事業											10年後の理想状態			
教育担当	地域で留学生(小ムステイ)の誘致	★西学留学院(英語村)	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	平成 36年度	平成 37年度	小中学校の学力を育てる地域	
子どもの学び	地域の育み	子どもの高齢者への友愛結句 ★校区内清掃(アプト清掃へつどいの参加)											多様な人々が交流できる地域	
生涯学習	御池台市民公開講座	子どもカフェ・地域(多世代)食堂											子どもから高齢者が楽しく仲良く暮らせる地域	
健康づくり	主婦のつどい健康講座 介護学院	子育て世代公開講座(保育付き) 生活・趣味・健康の講座 趣味を活かした自立グループの立ち上げ											生き甲斐を見つけ、楽しく学べる地域	
		★ゆ力あつふ教室 ★元気アップ教室											心身ともに健康でいられる地域	

★ 災害時に発揮する日頃の
自治会活動について

ご清聴ありがとうございました